

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公開番号】特開 2000-205356 (P2000-205356A)  
 【公開日】平成 12 年 7 月 25 日 (2000.7.25)  
 【出願番号】特願 平 11-7993  
 【国際特許分類第 7 版】  
     F 1 6 H      7/12  
 【F I】  
     F 1 6 H      7/12                      A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 5 月 27 日 (2005.5.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ケーシングに設けられたシリンダ孔に対してプランジャに設けられたピストン部が進入し、該シリンダ孔とピストン部の端面との間に高压油室が形成された油圧式オートテンシヨナにおいて、前記プランジャに設けた被圧面と前記ケーシングとの間にリターン用高压ガスを封入した高压ガス室を設け、該被圧面にかかるリターン用高压ガスの圧力によりプランジャをケーシングから退出する方向に付勢することを特徴とする油圧式オートテンシヨナ。

【請求項 2】

前記ケーシングの内部に該ケーシングの内径より外径が小さい内筒を設け、該内筒の内側を前記シリンダ孔とし、該内筒の外周面とケーシングの内周面との間に前記高压油室に連通し得る低压油室を形成し、該低压油室の上部に前記高压ガス室を設けた請求項 1 記載の油圧式オートテンシヨナ。

【請求項 3】

前記ケーシングの内部に該ケーシングの内径より外径が小さい内筒を設け、該内筒の外周面とケーシングの内周面との間を前記シリンダ孔とし、該内筒の内側に前記高压油室に連通し得る低压油室を形成し、該低压油室の上部に前記高压ガス室を設けた請求項 1 記載の油圧式オートテンシヨナ。

【請求項 4】

前記ピストン部の内部に前記高压油室に連通し得る低压油室を形成し、該低压油室の上部に前記高压ガス室を設けた請求項 1 記載の油圧式オートテンシヨナ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 9  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 9】

(1) ケーシングの内部に該ケーシングの内径より外径が小さい内筒を設け、該内筒の内側をシリンダ孔とし、該内筒の外周面とケーシングの内周面との間に高压油室に連通し得る低压油室を形成し、該低压油室の上部に高压ガス室を設ける。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(2) ケーシングの内部に該ケーシングの内径より外径が小さい内筒を設け、該内筒の外周面とケーシングの内周面との間をシリンダ孔とし、該内筒の内側に高圧油室に連通し得る低圧油室を形成し、該低圧油室の上部に高圧ガス室を設ける。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

(3) ピストン部の内部に高圧油室に連通し得る低圧油室を形成し、該低圧油室の上部に高圧ガス室を設ける。